

# 令和4年9月15日実施 医療機関向け説明会 Q & A

|    | 質問  | 回答   | 回答日   |
|----|---|--|-------|
| 1  | オミクロン株対応ワクチンのBA.5に対する発症予防効果および重症化予防効果は。   | オミクロン株に対して、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果とともに、持続期間が短い可能性があるものの、感染予防効果や発症予防効果も期待されます。<br>添付資料「オミクロン株対応ワクチンの有効性（抜粋）」参照   | 9月20日 |
| 2  | オミクロン株対応ワクチンの副反応は従来通りの頻度か。  | ファイザー社のオミクロン株対応ワクチンの薬事承認において、どちらのワクチンも従来型ワクチンとおおむね同様の症状が見られています。<br>添付資料「オミクロン株対応ワクチンの安全性（抜粋）」参照   | 9月20日 |
| 3  | 今後BA.5対応ワクチンが使用可能になると、今回のBA.1対応ワクチンを接種した場合、再度数か月後にBA.5対応ワクチンを接種することになり、被接種者にとっては負担が増えるように思われる。どのように説明をしたらよいか。   | オミクロン株対応ワクチンは、現時点では、1人1回の接種となります。（BA.1対応ワクチン接種後はBA.5対応ワクチンを接種することはできません）<br>オミクロン株の中での亜系統間の抗原性の差は大きくないことが示唆されており、オミクロン株対応ワクチンは、オミクロン株の種類（BA.1とBA.4/5）に関わらず、オミクロン株成分を含むことで、従来型ワクチンを上回る効果があること、オミクロン株と武漢株の2種類の成分が含まれることで、今後の変異株に対しても有効である可能性がより高いことが期待されています。<br>そのため、その時点でオミクロン株成分を含む接種可能なワクチンを接種いただくようお願いいたします。  | 9月20日 |
| 4  | 3回目接種完了者（従来の4回目接種対象者ではない）に9月28日以降、オミクロン株対応ワクチン用の接種券を送付することのことが、その者に対し、本人の希望等によりオミクロン株対応ワクチンではなく、従来ワクチンを接種してもよいか。  | 間違い接種になります。<br>従来の4回目接種の対象者は、60歳以上、18～59歳で基礎疾患がある者、その他重症者リスクが高い者、医療従事者等、に限定されています。この方々以外に従来ワクチンを4回接種することはできません。<br>オミクロン株対応ワクチン到着以降は、初回接種以外、全てオミクロン株対応ワクチンに切替えをお願いします。   | 9月20日 |
| 5  | 3、4回目未接種の場合ファイザーBA.1ワクチンに切り替えて接種となっているが、対象者が従来ワクチンを希望されたりBA.1ワクチンを拒んだ場合はどうするか。<br>3回目の従来型ワクチンを予約しているものの「BA.1ワクチンに変更したい」というケースや「流通したばかりのBA.1ワクチンを打ちたくないから従来ワクチンを打って欲しい」というケースもあり、切り替えを必須と考える場合やはり根気よく説明して接種していただくしかないか。<br>1・2回目の問い合わせ等もあるが取扱のミスを防ぐため、従来ワクチンとBA.1ワクチンを保管したくない。 | オミクロン株対応ワクチン到着以降の追加接種（3回目以降）は、原則、オミクロン株対応ワクチンを使用してください。既に従来型ワクチンで予約済の場合や接種者本人からの強い要望など、やむをえない事情がある場合は、従来ワクチンを追加接種に使用することは可能です。<br>ただし、従来ワクチンの対象者は変わっていません。よって、オミクロン株対応ワクチンの対象者のうち元々4回目接種対象でなかった方（18～59歳かつ基礎疾患がない、医療従事者・施設従事者でもない方）へ従来ワクチンで4回目接種を行うと間違い接種となります。（Q4のとおり）<br>なお、従来ワクチンによる初回接種は、従来ワクチンの在庫の範囲内で、東京都の大規模接種会場や練馬区の集団接種会場（一部）で当面継続しています。       | 9月20日 |
| 6  | 従来のワクチンを接種しBA5対応ワクチンを次回に接種する方法もあるのでは。   | その時点で接種可能なオミクロン株対応ワクチンを接種してください。オミクロン株の中での亜系統間の抗原性の差は大きくないことが示唆されており、オミクロン株対応ワクチンは、オミクロン株の種類（BA.1とBA.4/5）に関わらず、オミクロン株成分を含むことで、従来型ワクチンを上回る効果があること、オミクロン株と武漢株の2種類の成分が含まれることで、今後の変異株に対しても有効である可能性がより高いことが期待されています。<br>なお、従来ワクチンの対象者は変わっていません。よって、オミクロン株対応ワクチンの対象者のうち元々4回目接種対象でなかった方（18～59歳かつ基礎疾患がない、医療従事者・施設従事者でもない方）へ従来ワクチンで4回目接種を行うと間違い接種となります。（Q4のとおり） | 9月20日 |
| 7  | 小児用ワクチンで初回（1・2回目）接種を終了した児童が、追加（3回目）接種を受ける時点で12歳に到達している場合、12歳以上用のワクチンを接種すると説明があった。この場合、3回目接種は、<br>A 12歳以上用の従来ワクチンは未接種のため、初回接種として従来ワクチンを接種するのか、<br>B 初回接種完了者として、オミクロン株対応ワクチンを接種するのか、<br>どちらか。   | B 小児用ワクチンの初回接種は完了していますので、追加接種としてオミクロン株対応ワクチンを接種してください。   | 9月20日 |
| 8  | ワクチン注文フォームアドレスは、エリアごとのアドレスの変更はあるか。<br>アドレスが複雑なので、同じなら確認をしなくて済む。   | ワクチン注文フォームのアドレスは以前から変更ありません。<br>説明会資料10ページ参照   | 9月20日 |
| 9  | 12歳以上の1・2回目はモデルナで対応しているが、モデルナは接種したくないのでファイザーにしてほしいとのご意見がある。12歳以上に接種できる従来型ファイザーワクチンは注文できるか。  | 12歳以上の方への初回接種用として従来型のファイザーワクチンが必要になる場合は、住民接種担当課までご相談ください。  | 9月20日 |
| 10 | 冷凍状態で受け取ったワクチンの解凍方法、接種可能までの時間は。   | 冷蔵庫（2～8℃）または室温で解凍が可能です。<br>冷蔵庫（2～8℃）で保管した場合は4時間で解凍されます。ご使用の際は、室温に戻してからご使用ください。<br>ワクチン受取後すぐにご使用になる場合は、室温では30分で解凍されますので、その後ご使用ください。<br>添付資料「ワクチン取扱いマニュアル（抜粋）」参照   | 9月20日 |
| 11 | オミクロン株対応ワクチンの取り扱いについて<br>以前は、冷蔵庫から出して30分ほど置いて、希釈してゆっくり10回くらい攪拌して、注射器にとってから2時間以内に注射、などのやり方が規定されていた。<br>今回のワクチンの取り扱い方は。   | 添付資料「ワクチン取扱いマニュアル（抜粋）」をご参照ください。希釈が不要となった等、相違点にご注意ください。   | 9月20日 |

|    | 質問  | 回答  | 回答日   |
|----|---|---|-------|
| 12 | オミクロン株対応ワクチンも接種後15分程度の待機が必要か。   | 従来型ワクチンと同様、接種後にアナフィラキシーを呈することがあるため、接種後少なくとも15分間は被接種者の状態を観察する必要があります。(過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を引き起こしたことがある者については接種後30分程度)   | 9月20日 |
| 13 | インフルエンザワクチンも同時接種可とのことだが、今年の練馬区からのインフルエンザ予防接種の助成額は、コロナワクチンは無料なのにインフルエンザワクチンはお金がかかるのか、と患者様から意見がある。                                    | 今年度は高齢者インフルエンザ予防接種の費用が無料です。対象の方に、9月末までに予約票を発送します。<br>対象 次の のいずれかに当てはまる方<br>昭和33年1月1日以前に生まれ、接種日現在65歳以上<br>昭和38年1月1日以前に生まれ、接種日現在60～64歳で、心臓・腎臓・呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる身体障害者手帳1級程度の障害がある<br><br>接種期間：10月1日(土)～令和5年1月31日(火)<br><br>この内容は、ねりま区報9月21日号に掲載します。   | 9月20日 |
| 14 | 新型コロナウイルスワクチンとインフルエンザワクチンを同時接種しない場合は、13日あけるべきか、それとも他の不活化ワクチン同様に翌日接種してもよいか。  | 同時接種しない場合は、同日以降の接種が可能です。インフルエンザワクチンのみ新型コロナウイルスとの接種間隔を考慮する必要がなくなりました。<br><br>国の新型コロナウイルスの手引きには、「前後に他の予防接種(インフルエンザの予防接種を除く。)を行う場合においては、原則として13日以上の間隔をおくこととし、他の予防接種(インフルエンザの予防接種を除く。)を同時に同一の接種対象者に対して行わないこと。」と記載されています。  | 9月20日 |
| 15 | コロナワクチンとインフルエンザワクチンの同時接種が認められたが、同日異なる時間に異なる会場で接種を行うことも可能か。(例：8月1日午前A医療機関でインフルエンザワクチンを、同日午後B医療機関でコロナワクチンを接種)                         | 間隔に関する規定がなくなりましたので、同日に他の会場で接種を行うことも可能です。<br>添付資料「新型コロナウイルスと他のワクチンの接種間隔」参照   | 9月20日 |
| 16 | 同時接種は、右にヒブ、左に肺炎球菌、などと間髪を入れずに接種することが多い。コロナとインフルエンザのワクチンの場合、そのように立て続けでよいか、それともコロナを打ってから15分(あるいはインフルエンザを打ってから15分)開けてから、次のワクチンを打つ方がよいか。 | 間隔に関する規定がなくなりましたので、立て続けて構いません。<br>添付資料「新型コロナウイルスと他のワクチンの接種間隔」参照   | 9月20日 |
| 17 | オミクロン株対応ワクチン接種の方と従来ワクチンの接種の方が同日で混在することもある。VRSで読み取る際にかなり注意が必要となる。これを区別・識別するものは、予約票に貼付するLot.no記載の名称のみか。                               | お見込みのとおりです。VRS読み取り時に区別するのは、ワクチン接種シール(ロット番号シール)のみとなります。そのため、VRSへの誤登録が生じないように以下のような事務的な工夫を行った上で、運用していただきますようお願いいたします。<br><br>〔事務的な工夫〕<br>タブレットの読み込みの都度、設定画面の「ワクチンメーカー等」を変更するのではなく、あらかじめ予約票を従来ワクチン用とオミクロン株対応ワクチン用に分けておき、設定画面の「ワクチンメーカー等」の変更回数を極力少なくする。<br>オミクロン株対応ファイザーワクチンのシールには端にグレーの着色があります。従来ファイザー(白)との区別にシールの色を活用する。<br><br>(補足)<br>同一医療機関において複数種類の新型コロナウイルスワクチンを取り扱う際は、間違い接種がないようご注意ください。詳細は「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」をご参照下さい。(第8.1版：P29<br><a href="https://www.mhlw.go.jp/content/000971813.pdf">https://www.mhlw.go.jp/content/000971813.pdf</a> ) | 9月20日 |
| 18 | 月初での請求の際にはオミクロン株対応ワクチンと従来ワクチンを一緒に請求してよいか。   | 一緒に請求いただけます。束を分ける必要はありません。  | 9月20日 |
| 19 | 東京都や自衛隊の大規模接種会場におけるオミクロン株対応ワクチンの接種情報が分かれば教えてほしい。  | 東京都・・・都庁、行幸地下、立川等の会場で9月22日(木)から開始予定<br>自衛隊・・・10月3日(月)から当面の間接種を継続<br><br>詳細は別途メールにてお知らせします。  | 9月20日 |